

宇宙生命哲学

ことばはじめ

75

北里環境科学センター
名誉顧問／宇宙生命哲学者

伊藤 俊洋

よく学び、よく遊べ！

私は、まだ20代の修行中に、在職した大学の恩師から、生涯忘れられない貴重な教えを受けた。『少なくとも研究者の端くれと思うなら、常にその研究分野の最先端を走っているという自負を持たなくてはならない。その時、大切なことは、流行を追うのではなく、人が注目しない、いわば陽の当たらないところに研究の芽を見出すことが大切である。考えて、考えて、考え抜いて辿り着いた研究課題に対して、選りすぐりの実験を任せ、その結果にワクワクするような生活を組み立てる。その時、研究だけに没頭するのではなく、趣味や余技の世界にも目を向けることが、息の長い研究を続けるための秘訣である。』

恩師は、朝9時前に研究室に入り、到着した最新

の専門雑誌に目を通され（インターネットの無い時代）、研究員や学生の研究の進行について声をかけられ、昼には、室員と共に愛妻弁当を頂きました。午後は、研究・教育・学会運営などに関する諸々の課題にとり組まれ、午後3時のティ・タイムには室員とスポーツや趣味の話がされた。さらに夕刻まで仕事をされ、6時には帰宅の途につかれ、家庭での時間も大切にされた。週末土曜日には、早朝から研究会を開き、ラウンドテーブル方式で、1週間の研究成果と次週の実験計画を確認され、実験に対して詳細なコメントを出された。その後、最先端の学術論文の輪読会を行い、昼食後は、学内の仲間とのテニスを楽しまれ、「よく学び、よく遊べ」を座右の銘とされ、着実に、確実に、教育と研究に実績をあげられた。学会活動でも、「よく学び、よく遊べ！」の信念を守り、周囲から、絶大の信頼を得ていた。

恩師は54歳にして急逝され、私は、基本的に恩師の研究スタイルを踏襲しようとしたが、その結果は、恩師の足元にも及ばなかった。私は、65歳で定年退職し、その後、関連の法人の役員を12年間務

め、引き続き、同法人の顧問を務めている。現在は、大学での研究活動で得られた知見を基に創出した宇宙生命哲学という概念を、世間に広めていく。その哲学の心は、「人生とは、素敵な地球人になる終りのない練習である」といっもの、その根底には、恩師からの教えである「よく学び、よく遊べ」の精神が流れている。地球上のすべての老若男女が、「よく学び、よく遊べ」の精神の元に、「素敵な地球人」を目指して、日々、胸をワクワクさせられる社会が来ることを願っている。



同僚とテニスを楽しむ50代の筆者

た宇宙生命哲学という概念を、世間に広めていく。その哲学の心は、「人生とは、素敵な地球人になる終りのない練習であ